

(社)日本原子力学会 標準委員会 基盤・応用部会
第18回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録

1. 日時 2009年2月19日(木) 10:00~12:00
2. 場所 日本原子力発電(株) 本店 第8, 9会議室
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 岡本主査, 池田, 山内, 森本, 佐野, 伊藤, 小山, 井口, 中澤, 軍司, 武部,
村上, 川崎, 東, 見上, 酒井
(代理出席) 福谷 (小山代理), 村松 (工藤代理)
(常時参加者) 福島, 北村, 金澤, 田中
(傍聴者) 立花

4. 配布資料

- R3SC-18-1 第17回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録 (案)
- R3SC-18-2 「原子力施設の廃止措置の計画: 20XX」改訂前後比較表
- R3SC-18-1-1 1章 適用範囲
 - R3SC-18-1-2 2章 定義
 - R3SC-18-1-3 3章 廃止措置の基本的考え方
 - R3SC-18-1-4 4章 実用発電用原子等の廃止措置の計画
 - R3SC-18-1-5 5章 試験研究炉及び核燃料取扱施設等の廃止措置の計画
- R3SC-18-3 「原子力施設の廃止措置の計画: 20XX」
(2009年2月19日 ドラフト 第1版 rev1)
- R3SC-19-4 日本原子力学会標準「原子力施設の廃止措置の計画と実施: 2006」の改訂と対応方針 (案): 放射性廃棄物規制課

5. 議事

議事に先立ち, 分科会開催時点で委員22名代理を含め18名が出席しており, 定足数を満足していることが確認された。

(1) 人事案件

・委員交代

岡本主査より, 中島委員 (東京電力(株)) の異動により, 三本木氏 (東京電力(株)) に交代することの提案があり, 全員一致で承認された。

・常時参加者登録

岡本主査より, 金澤氏 (中部電力(株)) を常時参加者として登録する提案があり, 全員一致で承認された。

(2) 前回議事録の確認

前回議事録案が紹介され承認された。

(2) 学会標準改定案の説明

R3SC-18-3 「原子力施設の廃止措置の計画：20XX」（2009年2月19日 ドラフト 第1版 rev1）を用いて、改訂案の説明を以下の通り行った。主のコメント等とその対応は、次の通りである。

1) 1章 適用範囲について

適用範囲に原子力船を加えた。ただし、原子力船は実態として存在していないことから、標準案の中でも、適用範囲外としている。これらの点を踏まえ、実態の説明を、本文と解説に加えることとし、適用範囲から削除した。

2) 2章 定義

「最初の文が定義，続く文が注記としての補足説明である。」という注記を削除し，各定義の2文目以降をすべて注記とすることとした。

3) 3章 廃止措置の基本的考え方について

誤字，脱字，誤植等について指摘があり，修正した。その他，特に，なし。

4) 4章 実用発電用原子炉等の廃止措置の計画

・ 「4.6.4 廃止措置中の過失，機械又は装置の故障，地震，火災等があった場合に発生すると想定される事故の種類，程度，影響等 b) 想定する起因事象」の記載順序を次のとおり変更した。

変更前 : 1) 使用済燃料搬出完了前
2) 使用済燃料搬出完了以降

変更後 : 1) 想定される事象の例示
2) 使用済燃料搬出完了前後で想定事象を分けること
3) 使用済燃料搬出完了前は，上記事象をほうらくすることを確認した上で，原子炉設置許可申請書等の添付書類十に記載されている燃料取扱事故を想定することができること。

・ その他，誤字，脱字，誤植等について指摘があり，修正した。

5) 5章 試験研究炉及び核燃料取扱施設等の廃止措置の計画について

誤字，脱字，誤植等について指摘があり，修正した。その他，特に，なし。

6) 附属書及び解説について

・ 附属書 A について：注記 1（* 1）に原子力船を除外する旨の記載があるが，上記 1）の修正にしたがい削除した。

・ 附属書 E について：試験研究炉の廃止措置計画申請書の名称と認可年月について不明なものについて，正確な情報の提示を該当する委員に依頼した。

・ 記載箇所の変更：解説に記載されている内容を次のとおり附属書への移動するとした。

一解説の3章は、附属書xとする。

一解説の4章及び5章は、附属書Yとする。

(注) 解説の1章、2章はそのまま解説とする。

- ・ その他、誤字、脱字、誤植等について指摘があり、修正した。

(4) 専門部会への報告について

上述(3)のコメント等を反映した上で2月23日に開催予定の基盤・応用技術専門部会へ報告し投票にかけることが提案され、全員一致で承認された。なお、コメント反映版は19日中に各委員へメールにて送付し、確認を得ることとした。

(5) 今後のスケジュール

- ・ R3SC-19-4 日本原子力学会標準「原子力施設の廃止措置の計画と実施：2006」の改訂と対応方針(案)：放射性廃棄物規制課により、本標準のエンドースへ向けた保安院の動向が説明された。
- ・ 2月23日の専門部会以降、分科会はメール討論を原則とすることとした。

以上

